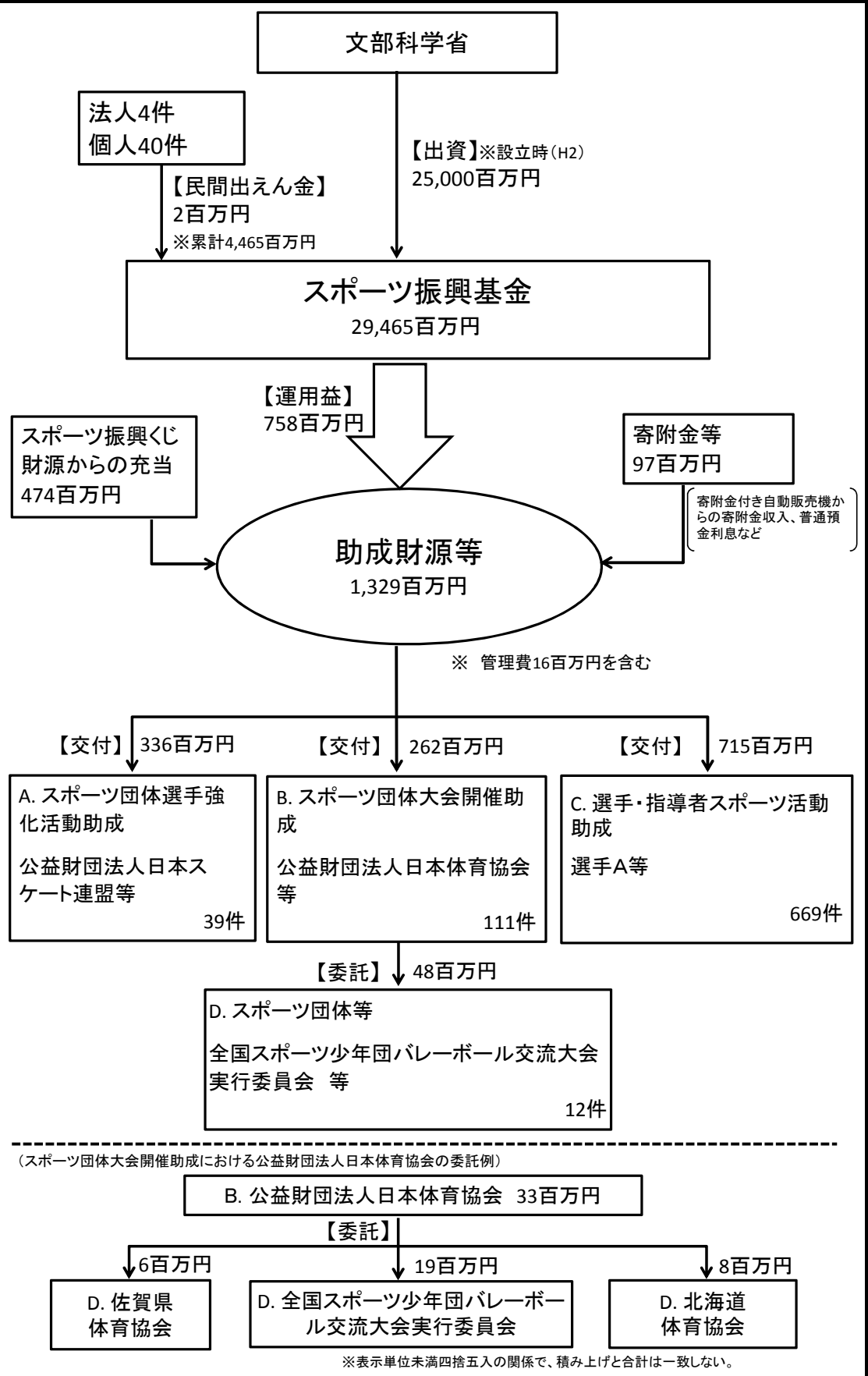


平成25年基金シート

(文部科学省)

基金名	スポーツ振興基金	担当部局	スポーツ・青少年局		作成責任者			
法人名	独立行政法人日本スポーツ振興センター	担当課室	スポーツ・青少年企画課		スポーツ・青少年企画課長 今里 隼			
根拠法令	日本スポーツ振興センター法15条、27条	関係する計画、通知等	スポーツ基本計画 (平成24年3月30日策定)	関係する行政事業 レビューシート	-			
事業概要	(1) <input type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input checked="" type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> その他 独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施主体となり、平成2年度補正予算による国の出資と民間からの出えん金を原資とするスポーツ振興基金の運用益等により、我が国の競技水準の向上と国民のスポーツの裾野の拡大に対する援助を行う。具体的には以下4事業に対し助成を実施。 ①スポーツ団体選手強化活動・・・スポーツ団体が行うスポーツに関する競技水準の向上を図るために計画的かつ継続的に行う合宿その他の活動 ②スポーツ団体大会開催・・・スポーツ団体が行う国際的又は全国的規模のスポーツの競技会、研究会又は講習会の開催 ③選手・指導者スポーツ活動助成・・・優秀なスポーツの選手又は指導者が行う競技技術の向上を図るための活動等 ④国際的に卓越したスポーツ活動・・・国際的に卓越したスポーツ活動を行う計画を有する者が行う活動							
基金への国庫からの支出の経緯 ①	基金設置年度	平成2年度	当初/補正 (会計区分)	補正 (一般会計)	国費額 (単位:百万円)	25,000		
	目的	スポーツ振興基金は、昭和63年のソウル五輪や平成2年の北京アジア競技大会における我が国の成績不振を受け、首相の懇談会として設置された「スポーツの振興に関する懇談会」が、国と民間が協力して、スポーツ振興を図るためのスポーツ振興基金を充実する必要があることを提言するとともに、日本体育協会や日本オリンピック委員会などのスポーツ団体等から、政府と民間で資金を拠出し基金を設置するよう要請があったことなどを踏まえ、平成2年の第120回国会において、日本体育・学校健康センター法の一部を改正する法律案が全会一致で可決され、当時の特殊法人日本体育・学校健康センターに設置されたもの。						
基金への国庫からの支出の経緯 ②	追加年度	-	当初/補正 (会計区分)	-	国費額 (単位:百万円)	-		
	目的	-						
国庫納付の経緯 ①	年度	平成20年度			国庫納付額 (単位:百万円)	505		
	目的	独立行政法人日本スポーツ振興センター法第24条3項により、第1期中期目標期間終了に伴う積立金の一部(スポーツ振興基金助成金事業分)を国庫に返納したものを。						
終了予定時期	スポーツ振興のための継続的・安定的な財源として設立した基金であるため、終了予定時期の設定はない。							
収入・事業費等 (単位:百万円)	収入	国費以外	国費	22年度	23年度	24年度	25年度見込み	
			出資等	547	547	643	516	
			運用収入	2	1	2	0	
			寄附金収入	98	98	115	92	
			その他	30	26	23	26	
		前年度繰り越し	65	76	74	29		
	(マイナス)返納額	29,460	29,462	29,464	29,465			
	合計(a)	-	-	-	-			
	合計(a)	30,202	30,209	30,321	30,128			
	事業費等	交付額	733	739	840	649		
管理費		6	7	16	14			
合計(b)		739	746	856	663			
基金残高(a-b)	29,462	29,464	29,465	29,465				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)		単位	22年度	23年度	24年度	25年度見込み	目標年度見込み
	(1)スポーツ団体選手強化活動助成 ・助成件数 ・助成金額	活動実績 (当初見込み)	件	113 (122)	40 (42)	39 (41)	- (43)	- (-)
			百万円	261 (333)	373 (430)	336 (395)	- (336)	- (-)
	(2)スポーツ団体大会開催助成 ・助成件数 ・助成金額	活動実績 (当初見込み)	件	116 (136)	96 (111)	111 (121)	- (128)	- (-)
			百万円	264 (395)	227 (292)	262 (305)	- (313)	- (-)
	(3)選手・指導者スポーツ活動助成 (※スポーツ振興(財源)による充当を含む) ・助成件数 ・助成金額	活動実績 (当初見込み)	件	617 (588)	686 (581)	669 (656)	- (445)	- (-)
百万円			610 (640)	757 (640)	715 (640)	- (640)	- (-)	
単位(1件)当たりの事業費等	1,622,711(円/件)	算出根拠	単位当たり事業費=事業費等(1,329百万円)÷助成件数(819件)					
保有割合 (基金事業に要する費用に対する保有基金額等の割合)	1	算出方法	保有割合=直近年度運用益額等(856百万円)÷基金事業として必要な額(856百万円)					
所見/対応状況	平成23年度決算検査報告において意見表示があった点については、基金がスポーツの振興に果たす役割をより効果的なものにするため、適正な運用に留意しつつ、基金を有効に活用するための方策を検討するよう日本スポーツ振興センターへ指示した。また、センターにおいては、専門の民間業者に委託して、基金の現在の資産運用に関する方針、基準、運用状況等についての評価・提言等を求め、25年3月にその報告を受けた。センターでは当該報告書を踏まえ、今後必要な措置について検討を進めているところである。							
補記	本基金は、平成23年度決算検査報告において、スポーツの振興に果たす役割をより効果的なものとするため、振興基金を有効に活用するための方策を検討するとともに、有効活用が図られない振興基金については、センターから国に返還をさせるなどして、財政資金の有効活用を図るよう意見表示があった。							

資金の流れ
(単位：百万円)



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

A.公益財団法人日本スケート連盟					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
渡航費	選手団国際航空運賃	12			
滞在費	選手団海外滞在費	7			
旅費	選手団国内交通費	2			
謝金	指導者・トレーナー謝金	1			
借料及び損料	練習リンク代、貸切バス代等	1			
計		23			
B.公益財団法人日本体育協会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	運営委員謝金・旅費、会場借料、競技用品等	32			
その他	役員旅費、メダル作成費、大会関係物品発送費	1			
計		33	計		0
C.選手A					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
滞在費	海外研さん活動拠点滞在費	3			
その他	国内旅費、渡航費、備品費、消耗品費	1			
計		4	計		0
D.全国スポーツ少年団バレーボール交流大会実行委員会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	会場借料、移動用バス借上げ料	16			
旅費	大会役員・スタッフ旅費	1			
謝金	運営委員謝金	1			
その他	看板等作成費、大会プログラム作成費等	1			
計		19	計		0

費目・使途

支出先上位10者リスト

A.スポーツ団体選手強化活動助成

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	公益財団法人日本スケート連盟	ショートトラックジュニア海外合宿 外4件 助成要件を満たしているため採択	23
2	公益財団法人日本障害者スポーツ協会	平成24年国際競技力向上強化合宿 外6件 助成要件を満たしているため採択	20
3	公益財団法人全日本柔道連盟	アジアジュニア・ユース柔道選手権大会 外6件 助成要件を満たしているため採択	20
4	公益財団法人日本水泳連盟	第5回ジュニアパンパシフィック選手権派遣 外2件 助成要件を満たしているため採択	19
5	公益財団法人日本サッカー協会	ナショナルトレセンU-14前期 外1件 助成要件を満たしているため採択	18
6	公益財団法人日本体操協会	新体操女子ノ選抜ジュニア国内強化合宿① 外9件 助成要件を満たしているため採択	14
7	公益社団法人日本カヌー連盟	カヌースプリントジュニア ピースタニー国際レガッタ派遣 外3件 助成要件を満たしているため採択	12
8	一般社団法人日本バイアスロン連盟	第2次バイアスロン海外合宿 外4件 助成要件を満たしているため採択	12
9	公益財団法人日本バスケットボール協会	第2回FIBA U-17女子バスケットボール世界選手権大会 外2件 助成要件を満たしているため採択	12
10	公益財団法人日本バドミントン協会	アジア選手権2012・インドオープン2012・マレーシアオープンPGP2012 外1件 助成要件を満たしているため採択	12

B.スポーツ団体大会開催助成

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	公益財団法人日本体育協会	第34回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 外2件 助成要件を満たしているため採択	33
2	公益財団法人日本障害者スポーツ協会	第17回日本障害者オープンゴルフ選手権 外8件 助成要件を満たしているため採択	22
3	公益財団法人日本バスケットボール協会	FIBA ASIA CUP 外2件 助成要件を満たしているため採択	10
4	特定非営利活動法人全日本アマチュアエアロビクス連盟	第5回 世界スーパージュニア選手権大会 外2件 助成要件を満たしているため採択	8
5	公益社団法人日本トライアスロン連合	第18回日本トライアスロン選手権(2012/東京港) 外2件 助成要件を満たしているため採択	7
6	公益社団法人日本ダンススポーツ連盟	第32回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権 外1件 助成要件を満たしているため採択	6
7	一般社団法人日本バイアスロン連盟	バイアスロン日本選手権大会 外1件 助成要件を満たしているため採択	6
8	公益財団法人日本ハンドボール協会	第64回 全日本総合ハンドボール選手権 外1件 助成要件を満たしているため採択	6
9	社団法人日本フェンシング協会	第65回全日本フェンシング選手権大会 外1件 助成要件を満たしているため採択	6
10	一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟	adidas CUP 2012第36回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 外2件 助成要件を満たしているため採択	6

C.選手・指導者スポーツ活動助成

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	選手A	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	4
2	選手B	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	4
3	選手C	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	4
4	選手D	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	4
5	選手E	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	3
6	選手F	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	3
7	選手G	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	3
8	選手H	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	3
9	選手I	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	3
10	選手J	平成24年度選手スポーツ活動 助成要件を満たしているため採択	2

D.スポーツ団体大会開催助成(委託)

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	全国スポーツ少年団バレーボール交流大会実行委員会	第10回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会の実施	19
2	北海道体育協会	第34回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の実施	8
3	佐賀県体育協会	第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会の実施	6
4	2012ISサマーグランプリジャンプ白馬大会組織委員会	2012FISサマーグランプリジャンプ白馬大会の実施	3
5	大阪ハンドボール協会	第64回 全日本総合ハンドボール選手権の実施	2
6	東京都弓道連盟	第63回全日本弓道遠的選手権大会の実施	2
7	鹿児島県ソフトテニス連盟	第67回天皇賜杯皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会の実施	2
8	岡山県アイスホッケー連盟	第17回全日本女子アイスホッケー大会(B)の実施	2
9	北海道アイスホッケー連盟	第32回全日本女子アイスホッケー大会(A)の実施	1
10	愛知県アイスホッケー連盟	第1回日本アイスホッケー連盟会長杯(全日本アイスホッケー選手権B)の実施	1